

さいしんじほんどう さんもん
西心寺本堂、山門について

員 数 : 2棟
所 在 地 : 安城市
所 有 者 : 宗教法人西心寺

名 称	形 式	大 き さ	建 設 年 代	登 録 基 準
西心寺本堂	木造平屋建、瓦葺	建築面積 326 m ²	1835（天保6）年	国土の歴史的景観に寄与しているもの
西心寺山門	木造、瓦葺	間口 3.6m	1903（明治36）年	国土の歴史的景観に寄与しているもの

【概要】

安城市東部の矢作川西岸に所在する浄土真宗寺院。本堂は桁行9間梁間7間、屋根は入母屋造、^{いたりもやづくり} 棧瓦葺の建物で、内部は典型的な真宗寺院本堂の配置となっている。用材を吟味し、特徴的な彫刻を施すなど地域の岡田大工の遺構として重要。山門は切妻造、^{きりづまづくり} 棧瓦葺の四脚門で、龍をはじめ随所に華麗な彫刻を飾る華麗な山門。



本堂 外観



本堂 内観



山門 正面



山門 彫刻